

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	入居者の不調時には受診を行うと共に、週に1度程度、主治医による往診をお願いしていたが、血液検査・レントゲン撮影・心電図検査等の定期的な『健康診断』を行っていなかった。表出されない罹患の芽を知る為に実施が必要と考える。	年に2回程度、入居者の健康診断を行う。	入居者の御家族に、健康診断実施につき、説明と合意確認を得る。 そのうち1回は、伊豆市の『後期高齢者医療制度健康審査』を利用する。 具体的な実施については、主治医と相談する。	3ヶ月
2	49	グループホーム中伊豆・北ユニットについては、入居されて日数が経過し、落ち着かれたら、南ユニットで行っている、1泊外出実施の検討を行う。	グループホーム中伊豆、南・北ユニット共に、年1回の宿泊旅行の実施。	入居者本人及び御家族に対し、1泊旅行についてのご意向を確認し、同意を得られたならば説明及び計画を進める。	7ヶ月
3	13	職員の意識と知識がまだまだ未熟である。施設内研修と外部研修への参加、他グループホームの見学などを積極的に行い、スキルアップを目指す。	入居者の満足を得られるケアを目指し、また他職員に対し指導できるレベル、また自分で判断できる気持ちの強さを獲得した職員を目指し、活動を行う。	業務内における各職員間の報告・連絡・相談を丁寧かつ確実にやっていく。 未熟な職員のレベルの底上げを行い、強いチームに仕上げる。	10ヶ月
4	13	同法人内他施設からの出向職員が帰任し、新職員の就業が予定されているので、職員全体の介護力を下げないよう配慮が必要である。	今よりもレベルの高い介護力を持つチームを作り、入居者の笑顔を引き出す。	職員が持つスキルを確認し、必要に応じた研修を行うべく人材育成マネジメントに取り組む。	12ヶ月
5					ヶ月